

# 東青梅老壮大学（8月講座）



## 「発達障害とその理解」



## を開催しました

今年度、新型コロナウイルスという未曾有の事態により、東青梅老壮大学では、4月の始業式から7月講座まで全て中止とさせていただいておりました。

しかしながら、霞共益会様の御協力により、広い会場を使用させていただけることとなったこともあり、加えて、感染症対策を万全にしたことで、この度、8月講座を無事に開催することができました。

霞共益会様ならびに開催に至るまで多大な御協力をいただいたすべての方に感謝申し上げます。

当日は、会場が遠くなり、また、この状況下においては参加者が少ないのもやむを得ないと考えておりましたが、37名もの学生が参加しました。

老壮大学の学生の学びに対する熱意を改めて感じさせられました。

この、学生の熱意を無駄にしないためにも、今後も東青梅老壮大学では、新型コロナウイルス感染症と向き合いながら、対策を万全に講じ、講座を実施していきたいと考えておりますので、皆様の御理解を何卒お願い申し上げます。

東青梅老壮大学

学長 池田 政次



澤井 晴乃 先生  
(NPO法人かけはし 代表)

NPO法人かけはし代表の澤井先生に御登壇いただき、「子どもの発達障害とその理解」について、お話いただきました。ADHDや自閉スペクトラム症など、発達障害の認識は以前と比べると進んでいる一方で、具体的な行動パターンがわからないため、まだまだ、理解は進んでいないのが現状です。

そのような中で、澤井先生は、発達段階に応じた子ども達の例を挙げながら、また、御自身で作成されたそれぞれの症状に関する説明資料を用いてわかりやすく説明してくださいました。

学生も先生の説明に「うんうん」と頷くことが多く、皆懸命に先生のお話を聞き、メモを取っていました。

最後に三ツ木理事長からは「今回は子どもに関する発達障害についてのお話だったので、来年はぜひ大人の発達障害についてもお話いただきたい」と先生にリクエストされていました。

# 新型コロナウイルス感染症対策について



新型コロナウイルス感染症対策として下記の内容を徹底しました。

① ソーシャルディスタンス対策

- ・椅子は前後左右距離を保った配置

② マスク着用

(受付の者(近くで接する者)については、フェイスシールドも着用)

③ 入口にて

- ・アルコール消毒
- ・非接触型体温計を用いて検温(外出前に自宅でも予め検温を行う)

④ 受付は役員でチェック(従来は、学生自身で出欠簿にチェック)

⑤ 換気

⑥ 使用後は、全ての使用備品・機材について消毒作業を実施

